

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名:放課後等デイサービス みんなのき ゆう

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		5	・10人以上児童がいる場合や、児童らの状態等を見て2チームに分けて活動を行うことや園外を活用する。	・引き続き、児童の人数に応じた活動を考えていく。
	2 職員の配置数は適切であるか	5		・児童の様子や活動状況に応じて、可能な限りは職員の人数を国の基準以上の配置にしている。	・引き続き、必要に応じて可能な限り職員の配置を見直して配置していく。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2	・扉が重かったり通路が狭い部分がある。通路にはなるべくものを置きすぎないようにしている。トイレには手すりがついている。 ・段差がないので、車いすでも出入りしやすい。	・扉の開け閉めは大人が出来る限りフォローをしていく。 ・通路が狭い為、ものの配置を考えたり、段差をなくすための板を用意したりして、必要に応じて活用していきたい。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5		・毎日、活動後に反省の時間を設け、子どもにかかわった職員が参加し、気づいたことの共有や今後どうすればよくなるかを話し合い、次回以降の活動時に振り替えられるよう記録に残している。	・毎日の反省の時間や朝の会議で気づきを共有を引き続き行う。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		・日頃より、ノートを使って保護者とやり取りすると共に、年に二回の保護者との面談で意見を聞き、業務改善につなげている。	・引き続き、保護者の意見に耳を傾け、職員同士で共有し、業務改善につなげる。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		・適切に公表している。	・引き続き、ホームページへの掲載を行う。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			・前回同様、事業所としては第三者評価は受けていないが、法人として受診しておりその際に自己点検や改善点の共有などを行っている。	・法人における第三者評価などの機会を生かしていく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		・コロナの扱いが緩和されたことにより、研修も定期的開催されるようになった。出来る限り研修には参加し、学ぶ機会を設けている。 ・直接出向くのが難しい場合はリモートで行っているものに参加したりしている。	・引き続き、可能な限り研修に参加していく。
9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		・クール末毎の面談や保護者のお迎え時にその日の様子を伝えるなど、コミュニケーションを直接とりながらニーズを把握して計画に反映している。	・引き続き、相談支援事業所との連携や、本人や家族との面談などを行い、計画に反映していく。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		・保護者から任意に提出された発達検査の結果や、新版K式発達検査などの検査項目をもとに、子どもの強みや課題を整理している。	・引き続き、活用して情報を整理していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		・活動前に行うミーティングなどで事前に意見を吸い上げ、活動後の反省などで次回に活かせるような話し合いを行い、プログラムの立案を行っている。	・引き続き、職員間での意見呼応間の場を設け、活用していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		・日ごろから役に立ちそうな遊びはないか、探すようにしている。 ・活動が被らないように、多数の職員からもアドバイスをもらいながら行っている。 ・児童たちの意見にも耳を傾けながらプログラムに取り入れている。	・職員間で活動の内容を吟味して、子どもたちに合った活動を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5		・季節ごとの行事や長期休暇等にはイベントを行い、日常で味わえない活動を取り入れている。	・子どもたちの楽しみとなるような計画を引き続き考えていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		・日頃の行動観察や利用者・保護者からの意見の吸い上げを行い、活動内容や活動体系の調整を行っている。	・個別活動や集団活動を、子どもの様子や状況に合わせて行っていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		・活動前に話し合いを行うと共に、アプリを使い、誰が見ても分かるように内容を確認出来るようにしている。	・引き続き、活動前の打ち合わせ時間を取っていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5		・活動後に反省や振り返りを行っている。また、反省や振り返りで出たことは写真などを用いて、次の日に共有できるようにしている。	・引き続き、反省や振り返りをすると共に、職員間で共有が出来るようにしていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		・決められた書式があり、誰が見ても分かる記録の付け方を周知している。 ・記録は分かりやすいように短く、まとめるように心がけている。	・引き続き、記録をつけて支援の検討や改善に繋げていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5		・クール末毎に個人支援計画の作成を行い、保護者との面談を行っている。 ・相談支援事業所におけるモニタリングを参照し、定期的に課題の見直しを行っている。	・引き続き、保護者とのコミュニケーションを図り、計画の振り返りや改善に繋げていく。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5		・ガイドラインに示された、自立支援、創作、余暇活動を取り入れている。	・ガイドラインについて熟知する機会を設けることで、実践する力に繋げていく。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20		5	・必要に応じて担任や親担当が参加することがある。	・引き続き、担任や親担当の職員が連携に参加していく。	
	21		5	・こちらから直接学校に情報を提供してもらうのは、個人情報保護のため出来ないとのことなので、保護者の協力のもと年度ごとに情報を共有している。	・ルールにのっとりながら、保護者からの協力のもと情報を収集していく。	
	22		5	・現在、そのような児童はいないが、必要に応じて連携を取り、活動時の配慮を行う体制がある。	・現状そういった子どもがいないが、必要な場合は保護者の協力のもと関係機関と連携をとっていく。	
	23		5	・併設されている児童発達支援事業などが作成した、個別支援計画を参照している。また必要な時にやり取りを行い、情報の共有と相互理解に努めている。	・現在行っている事を引き続き行っていく。	
	24		5	・保護者から依頼があった場合に動ける体制はとっているが、現状障害福祉サービスへの移行の事例がない。	・保護者から依頼があった場合に、動ける体制は整っている。依頼があった場合は対応していく。	
	25		5	・コロナの扱いが緩和されたことにより、研修に参加できるようになった。よって、可能な限りは研修に参加している。	・引き続き、必要に応じて専門機関と連携を取ると共に、研修等にも可能な限り参加していく。	
	26			5	・個人情報の保護の観点から、行っていない。	・引き続き、個人情報を保護しながら、交流を持てる機会があれば行う。
	27		5	・法人として地域の連携会議に参加している。	・連携会議や、協議会が開催される場合には積極的な参加を行う。	
	28		5	・活動後の報告やノート、電話での対応などを行っている。 ・また、クール末毎に面談を行い、子どもの発達について一緒に検討している。	・引き続き、活動後の報告や連絡帳や電話でのやり取り、半年に一度の個別面談を通して、共通理解を図っていく。	
29		5	・月に1回親時間(保護者交流)を設けているが、保護者の仕事の都合などで時間的に難しさがあり、なかなか集まらない。 ・クール末毎の個別面談やノートのやり取りなども行っている。	・引き続き、半年に一度の個別面談や日々の報告、ノートのやり取りなどで向上を図る。		

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		・入園にあたって事前に説明会を行っている。 ・重要事項説明書を閲覧出来るようにしている。	・現在行っている事を続けていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		・親担当の職員が配置されており、必要時にはそちらに繋げて対応を行う。その後、担任等への情報共有を行っている。	・引き続き、保護者の悩みに適切に応じられるよう、必要に応じて職員間で検討し返答を行っていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5		・コロナの扱いが緩和されたことにより、少しずつそういった機会を増やしている。 ・卒園児と在園児の保護者が交流できる機会を設け、親対応の職員を中心にサポートを行っている。	・引き続き行うと共に、必要に応じて頻度を増やしていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		・苦情受付の担当があり、窓口を明示している。	・引き続き、日頃からコミュニケーションを積極的に取りに行くと共に、苦情があった場合は迅速かつ適切に対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		・毎月園だよりを発行し、活動内容や今後の予定など周知出来るようになっている。	・引き続き、保護者が見やすい園だより作りを行っていく。
	35	個人情報に十分注意しているか	5		・個人情報載っているものに関しては鍵付きのロッカーで保管するようにしている。また、反省や打ち合わせを行う際には場所にも配慮を行っている。	・常に行っている方法が最善かを模索し、必要に応じて、職員間で検討しながら個人情報保護に努める。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		・サインやカードなど視覚的アプローチを活用しながら、コミュニケーションをはかっている。	・個人に合わせたコミュニケーション方法を模索し、必要に応じて全体周知して配慮を行っていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5	・個人情報の観点から行っていない。	・個人情報保護を意識し、機会があれば地域に開かれた事業おこなっていく。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5		・マニュアルは回覧を回し、常に閲覧できるようにしている。	・現在行っている事を引き続き行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		・毎月、様々な想定 of 避難訓練を行っている。	・引き続き行っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		・職員研修を行っている。	・引き続き、虐待防止に向けた研修に参加し、周知していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5		・現状、身体拘束具を使うようなケースがない。	・身体拘束が行わなくて良い関わりを行っていく。また、車両関係などで安全上、身体拘束を行う場合があることは保護者に説明を行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5		・食事を提供する事はないが、保護者から情報としてアレルギーの有無を聞き取っている。	・食事を提供する場合には、指示書に基づいた対応を行う。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		・データで閲覧できるように管理している。	・現在行っていることを継続していく。